

平成21年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	嬉野市立嬉野小学校		
2 所在地	嬉野市嬉野町大字下宿乙1647番地		
3 校長名	永池 守		
4 学級数 児童生徒数	20学級 538人	5 実施学年 児童生徒数	第4学年 92人

6 取組のねらい

身近な物や施設について調べる活動を通してUDについて理解させ、使いやすくするためにどんな工夫がされているか気づかせたり、これからどんなことに気をつけていけばよいのか考えさせたりして、みんなで幸せに暮らしていこうとする心情を育てる。

7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようすること）

○つかむ・調べる

- ・UDとは何か
- ・UDの歴史
- ・身の回りのUD

○まとめる

- ・新聞作り
- ・ポスター作り

○考える

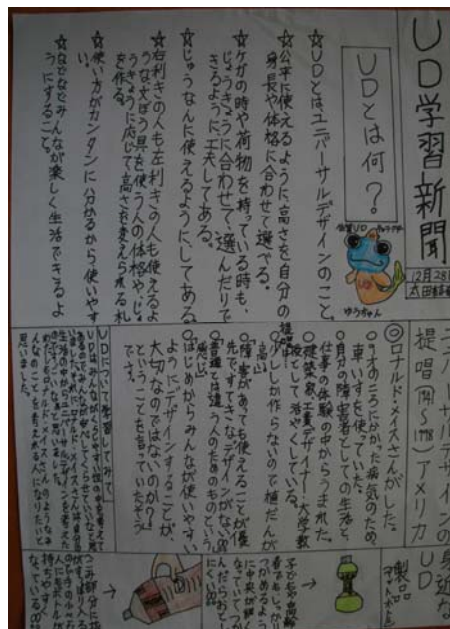
- ・私が考えたUD

○知らせる

- ・ｺｰｸｰﾙへの応募
- ・発表会を開く

○振り返る

- ・学習を振り返る



<児童がまとめた新聞>



<児童が考えたUD>

8 取組の成果と課題

【成果】

- ・児童が、UDの存在に気付くことができた。
- ・児童が、身の回りの物や施設をUDという視点で見ることができるようになった。
- ・児童が、「みんなのこと」を考える機会となった。

【課題】

- ・資料中の用語や内容が、4年生という発達段階の児童には少し難しかった。
- ・机上や情報機器による調べ学習が中心となった。地域に出向いてUDが活かされた製品や施設などの実物に触れる学習を計画し、より充実させたい。

※必要に応じて、適宜、枠を広げ作成すること